

問 食品ロス削減は 全庁内で実施を

答 今後は備蓄食糧の活用を検討する



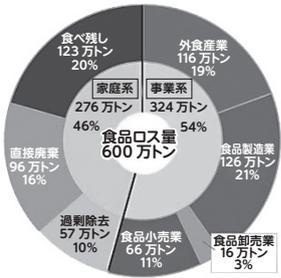
新政とうかい
よしだ みちひろ 議員
吉田 充宏

問 本村の食品ロス削減の取組と推進計画の策定状況は。

答 食品ロス削減月間に広報誌や公式ホームページ、SNS等を利用して情報発信、講演会を開催、リーフレットを作成し啓発活動をしている。食品ロス削減推進計画は一般廃棄物処理基本計画に盛り込み作成中である。

問 避難所や東海病院に備蓄してある賞味期限が迫った食糧の対応は。

答 備蓄食糧は約3万食あり、賞味期限が迫った食糧は広



域避難訓練や地域の防災訓練等に活用している。東海病院の備蓄品は保存期限内で処分している。

問 食品ロス削減の観点で、備蓄食糧の活用は全庁的に取り組むべきであるが見解を伺う。

答 避難所等で備蓄する食糧は毎年6千食程度の更新を予定している。賞味期限を迎えるものは引き続き有効活用を図りつつ、食品ロス削減の観点からの情報交換や先進・優良事例の試行等の取組を進める。東海病院の備蓄食糧はフードバンクへの寄付などを検討する。

日本の食品ロスの状況 (平成 30 年度)

問 「生理の貧困」 緊急要望への取組は

答 速やかに、関係部署と調整する



光風会
えり かつ 議員
恵利 いつ

問 「生理の貧困」とは、女性にとって生活必需品である生理用品が満足に購入できない状況にある隠れた貧困のことである。母親となる女性の体を大切にするという観点から、本来国が恒久的にサポートすべきと考える。村内の状況は。

答 当事者が積極的に声を上げにくいという状況もあり、本村における実態把握はできていない。これまでに生理用品が買えないなどの相談は受けていない。

問 緊急要望を出したが、取組状況は。

答 庁舎内トイレに生理用品を試験的に配備した。生活に困窮し生理用品が購入できない方への配布についても検討する。防災備蓄品としてすでに配備し、適宜更新している。

問 村内児童生徒の状況と取組は。

答 養護教諭に気軽に相談できる体制を構築する。申し出があった児童・生徒に個別に対応するとともに実態把握に努める。性に関する基礎的・基本的な内容を発達段階に応じて指導していく。



役場では、試験的に女性トイレ(1階・4階)へ生理用品を配備